

健康づくり等関連施策の事業企画・予算化の工夫等

事業名	事業の企画・予算化への過程において工夫したこと
健康づくり計画策定	<p>平成16年の市町村合併に伴い、現町の健康課題を明確にする必要を感じた。さらに、合併をする他町も同じ気持ちであり、合併という枠組みの中で各町代表の健康づくり計画部会ができ、そこで決まった事項について、各町が作業を進行できる。さらに保健所の参画で、より具体的な方向性が見える。予算化は、合併する町すべてが同じ歩調で実施をする旨を伝えた。</p>
健康づくり運動教室	<p>当初は、温浴施設建設に向けたソフト事業として保健事業で開始をした。骨運動器疾患の増加や高脂血症・糖尿病予備軍肥満など生活習慣病改善に向けた保健センターでの午前、午後、夜間の教室と水中運動を実施している。</p> <p>運動指導士の参画（委託）により、専門的・具体的な内容が実施できる。推進要因としては、①参加者は実施する前と後の明らかな体調の改善を感じられること②楽しんでやれること③家で継続してできる内容であること④自分にあった運動ができる④都合のよい時に参加できる機会（3回/日）がある。⑤水中運動は、町の借り上げバスが利用できる⑥ポスターの掲示、医療機関に対し事業説明を実施した等が考えられる。</p> <p>予算化は、事業の評価や参加者の声を伝え、これまでの基本健康診査結果等から一次予防の重要性を資料で示した。</p>

事業名	健康教育
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業企画に至ったきっかけ ・ 事業企画の推進要因等 	<p>2. 健康教育</p> <p>健康づくり計画策定のために、平成12年度実施の市民生活調査から転倒予防や健康増進の観点から、運動を中心にした健康づくりに取り組むため、各教室の開催に着手。計画策定を主眼において、国保生活習慣改善モデル事業の助成を受け、4年間を期間に事業を計画した。</p> <p>その過程で、各事業の見直しやその事業効果を見る手段として、事業記録や個人情報を経年的管理の必要性を痛感し、医療情報を取り込んだシステムを開発、利用することとした。現在、医療・相談・教室・訪問の情報を取り込んでいる。今後、評価のためのアンケートの取り込みなどを思案している。</p>
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>計画策定委員を一般公募、健康づくり情報を公開、各委員会で事業への理解を深める。また、策定委員会や実務委員会で先進地研修を実施、夜なべ談義を通して、保健事業の財政効果などを語り合った。</p> <p>計画策定をコンサルでなく自前で行ったので関係課と話し合う機会ができ、共通の事業は、協力して実施した。</p>

<p>事業名</p>	<p>生活習慣病発症予防実態調査</p>
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等 	<p>平成14年度～平成16年度の3か年計画とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生統計調査により脳血管疾患による死亡率が高い。 ・ねたコリ者の減少を図る。 ・40、50歳代の健康増進を図る。
<p>子牙化への過程において工夫したこと</p>	<p>衛生統計資料及び健康診査実績、介護保険申請状況、障害手帳交付状況等分析し提示。</p>

事業名	ウォーキング普及事業
当該事業の企画について 記載事項例) ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等	ウォーキングを通じた健康づくりを町民に広く普及することを目的に「MAP ○○」という普及のためのボランティアを育成した。 町内のウォーキングマップ作成や、ウォークラリー等のイベントを開催し、普及活動を行っている。 企画については保健師が介入するが、ほぼ団体で自主運営ができています。
予算化への過程において工夫したこと	日ごろから活動を通して健康づくりの大切さと団体の名をPRして、予算の確保に努めている。

事業名	生活習慣病予防事業
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業企画に当たったきっかけ ・ 事業企画の推進要因等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各保健教育事業において、栄養と運動について企画するが、どちらも継続することが重要となる。栄養は栄養教室があるが、運動を継続するのはやはり困難なものがあり、一人で続けるのも続けにくい。集団で継続することが出来、自主活動への糸口になればと思い企画をした。 ・ 市で実施している教育や相談等からつながって広がってほしいと思っている。
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教室の終了生に、もしのような企画があれば参加したいかというアンケート調査を行った。具体的に要望される方がどの位おられるのかと把握した。

事業名	健康づくり推進大会
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等 	<p>事業企画に至った経緯</p> <p>当初補助事業により、市民の健康増進を目的に開催した。以後町単独事業として継続し開催している。</p> <p>事業企画の推進要因等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国保担当課との連携 2. 健康づくり推進役員との意見交換並びに意見聴取 3. 健康づくり推進役員への医師委嘱
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>一事業を複合的な事業としてとらえ、国保担当課との役割分担を行うことにより、予算計上も各分野で主要部分のみ要求して、事業の組立てを実現している。</p>

事業名	<p>〈産後ケアについて〉</p>
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業企画に至ったきっかけ ・ 事業企画の推進要因等 	<p>・ 婦科医を限定して産後ケア(産後)のあり方、効果的である。過去10年近く継続している取り組みです。</p> <p>〈21計画について〉</p> <p>手づくりという事を前提に、いわゆるコンクリートと木を組み合わせ、アドバイザー(指導員)のみの対応で、健康が本来の趣向色に引き込まれる。コンクリートの産後ケアは、メリハリを大事に感じている。</p> <p>〈成人病予防教室〉</p> <p>健康講座を利用しながら、経済的アプローチを対象者にすることにより、生活習慣病改善への糸針がよくなる。</p>
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最低ラインの予算確保という点で、取組む事業のスクラップアドバイザーを心がけた。 ○ 市民が主体的に活動できるように、予算は自治体で事業費用で回ると考えた。

事業名	保健推進員活動
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等 	<p>市の行う保健事業の推進及び地域住民の健康増進のために、地区活動を行う。</p> <p>より身近なところで、健康について考え、行動できるように、行政区単位での活動に取り組む。</p> <p>活動内容 (健康教育: 歩け歩け、栄養教室、施設見学、健康体操 など)</p>
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>行政区(町)単位に、活動費交付金を交付し、行政区ごとに特徴のある活動が実施できるようにして。</p>

事業名	若い女性のための健康調査
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業企画に至ったきっかけ ・ 事業企画の推進要因等 	<p>昨年度 歯科健診を希望者により行っていたが、歯発見率の高いため、歯周病予防対策としての意識を、行動変容を目的とし、健診項目として今年度より取り入れた。</p>
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>受診者の年代の多くが30年代で、30年代は若さでも生活習慣病予備軍が多く、又、現代女性特有の「やせ」「貧血」も多いことから、こうした若年層への健診の意義、早期一次予防としてとらえ、重要性を示し、参加者数を200人→300人へ増員するよう要望した。</p> <p>又、歯科健診、骨検診も併設して行い、利便性を図る工夫もする旨、事業の工夫も訴えた。</p>

事業名	健康まつり
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業企画に至ったきっかけ ・ 事業企画の推進要因等 	<p>〇〇町 21世紀の健康づくり計画に基づき、「健康管理に努め、健康を長生きしよう。」のテーマとして、芸能祭、ヤング健診、健康相談等健康啓発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係団体の長・町関係課を混えた実行委員会方式 ・ 芸能祭：いよいよ〇〇杯発表漫才 ・ ヤング健診：町内 20才～39才 対象に生活習慣病予防及び結核検診を実施 ・ 健康啓発：禁煙・骨質バンクの推進 エイズ・栄養相談・体脂肪測定 救急法・アイルドシフト蒸着法
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>昔ながら健康ポスター展示 福祉用具の展示</p> <p>実行委員会方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理に努め、予防意識を高める事が、ひいては医療費の抑制にもつながっていく。その為、健康づくり担当係だけでなく、国民健康保険担当係と同額ずつ実行委員会に委託料を支出。

特記事項（工夫したことなど）

事業名	公民館健康づくり懇談会
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等 	<p>本市の特徴として、小学校区ごとに設けられた公民館を中心としたコミュニティが存在する。</p> <p>市民は、通常の社会教育の場としての活用と同時に、自治連合会単位（概ね旧村単位）での地域活動の場としても利用しており、行政からの各種依頼及び情報に関しては、公民館を介して伝達されることが往々にしてある。</p> <p>また、国体の開催を目前に控え、選手を民泊によって受け入れる際の地域拠点ともなっている。</p> <p>この様に、本市は公民館による様々なコミュニティ活動を展開している。</p> <p>保健事業においても以前から健診会場として、最近では公民館保健室と、公民館を足がかりに地域ヘルスプロモーション活動を展開中である。</p> <p>そこで地域における健康意識を高め、お互いの協力の中から健康なまちを築くため、「健康なまちとは何か？」をテーマに、公民館単位で懇談会を開催する。</p> <p>健康に関する現状や課題を地域のデータを基に、改善策等を地域住民とともに考える。</p> <p>実施回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 講演「地域で育む健康づくり」 ・第2回 みんなで健康づくりを考えよう(グループワーク) <p>講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康まちづくりコーディネーター <p>会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9公民館
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>健康づくりリーダー養成講座を受講した者を、グループワークのファシリテータとし、活発な意見交換の中から、地域での取り組み目標や要望が示されるよう配慮する。各事業を連携させることでの相乗効果をねらい、予算の効率化を図った。</p>

特記事項（工夫したことなど）

事業名	はみんぐフェスタ
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例) ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等</p>	<p>平成13年より毎年、市民の健康づくりの啓発のため健康標語を募集している。これをきっかけに、標語に合った内容の事業と、衛生週間事業に併せて実施するようになりました。</p>
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>当センターばかりの企画内容とせず、他課、他団体へ声をかけ、「市民への健康づくりの啓発」を目的とした事業企画を実施しました。</p>

<p>事業名</p>	<p>5. 40歳未満者のための生活習慣病予防健診及び健康相談</p>
<p>当該事業の企画について 記載事項例) ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等</p>	<p>若く世代からの健康づくり啓発を目的に、基本健康診査事業以外に、次の事業も着手した。 H元年度～小児生活習慣病予防健診 H4年度～40歳未満者の生活習慣病予防健診及び健康相談</p> <p>《企画に至った理由》 基本健康診査事業も毎年高い受診率を得て軌道に乗り、小児生活習慣病予防健診も開始できていた。乳幼児・学童期の児童の親の世代にあたる年代層、青壮年期層の健康づくり啓発の必要性も感じられた。</p>
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>当初は健診窓口へ提供だけで金額、自己負担もしていたためスタート。 受診状況の実績も確認し、平成17年度からは、検診料金自己負担金を助成とし、負担金の軽減を図り受診を促した。 実績の評価により予算化</p>

<p>事業名</p>	<p>小児生活習慣病予防のための健康講演会</p>
<p>当該事業の企画について 記載事項例) ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等</p>	<p>〇〇市においては平成元年度に小学 女年生から中学3年生までを対象とした 小児生活習慣病予防健診事業をスタートした。 県下では他市の村に先駆け7の着手下検査項目 も充実したためであった。10年余りの事業評 価を行い、教育委員会、保健サイトは検討結果 予防の動機づけ、事後指導に力を入れる必要 性を感じた。 小児生活習慣病予防を専門とする 小児科医師と講師に招き、講演会開催</p>
<p>予算化への過程において 工夫したこと</p>	<p>1. 平成元年度～ 事業評価を 実施 (健診委託機関、教育委員会、健康保 小、中学校養教等) 健保 保健所 2. 予防の動機づけ、事後指導事業の充実 の必要性を共有 ↓ 教育委員会にて予算計上</p>

事業名	健康づくり推進協議会
<p>当該事業の企画について 記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業企画に至ったきっかけ ・ 事業企画の推進要因等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の多様なニーズに対応するには、地域住民の自主活動が不可欠である。そこで平成13年度健康づくり推進協議会を校区ごとに立ち上げた。 ・ 自治区や地区公民館等、地域住民の理解、また、上司の理解はもちろん、スタッフとの意志確認のためのカンファレンスの実施が推進力となった。
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国保医療費、重複受診、多受診等の医療費状況の分析やこれまでの保健活動の見直し等から、地域住民自身による地域保健福祉活動の重要性を理解してもらった。

事業名	健康増進センターまつり
当該事業の企画について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成14年度末に策定した「健康 ○○ 21」計画の地域浸透と、新設された健康増進センターの住民周知を図るため、健康 ○○ 21 計画推進委員会を組織し、事業計画を行った。 <p>推進要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推進委員会のボランティア協力があつたこと ・ 他課との事業共催及び予算協力ができたこと
予算化への過程において工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国保担当と連携をとり、事業費の支援を受けた。 ・ その他、他課と事業共催をした。 ・ 他事業団体等のボランティア協力を受け、また事業を共催とした。

事業名	健康増進センターまつり
当該事業の企画について	<ul style="list-style-type: none">・ 健康 ○○ 21 計画の策定過程で、自殺による死亡率がここ数年間、県内においてワースト5にランクされ、町の健康課題として取り上げられた。・ 策定委員等関係者の間において、心の健康づくり対策が不可欠であることが共通に確認できた。・ ○○ 県の高齢者自殺予防対策があることを知り、支援を要請した。
予算化への過程において工夫したこと	<ul style="list-style-type: none">・ 町の新規事業としては却下されたが、○○ 県の支援事業として推進することでは、了解が得られた。そのため、町の子算としては、アドバイザーとなる講師との交渉と、通信費等事務費の計上となった。

事業名	
<p>当該事業の企画について (記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業企画に至ったきっかけ ・ 事業企画の推進要因等 	<p>胃がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別検診では平成13年度より内視鏡検査も実施しており、既往歴のある人は内視鏡を実施 (年間10～15人程度) <p>歯周疾患検診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成10年度より40歳以上全員を対象に個別検診で実施。 (自分の歯を十分に保有し、食べる楽しみをもてるよう歯の喪失を予防し「80歳20本」を目標に実施。
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>歯周疾患検診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人保健事業の対象者なしの年度もあり、対象外の為検診の必要性等を説明し予算化している。

事業名	健康づくり事業
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等 	<p>本村は、健康医療学園都市づくりを目指して、順天堂大学・日本医科大学を誘致しており、これらの大学と協力した地域医療・保健体制の充実が望まれる。保健行政においては、疾病の早期発見や早期治療という二次予防とともに、一次予防としての健康増進がますます重要になっている。</p> <p>そこで保健・福祉の拠点施設となる「ふれあいセンターいんば」内に、「健康づくりセンター」を整備し、生活習慣病予防のための良い習慣づくりを目指した運動実践の場とし、順天堂大学および日本医科大学の協力のもと、健康チェック・個々の運動処方の作成や運動指導を実施して行く。事業の実施にあたっては、運動指導のできる指導者や、医療機関の協力が不可欠であり、両大学の協力により、それらの指導が可能な体制づくりがすすめられたことが、大きな推進要因となっている。</p>
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>	<p>健康づくりを、村の施策の基本ととらえ、基本計画のなかで計画的に実施している。</p>

事	業 名	いきいきスポーツ教室
<p>当該事業の企画について</p> <p>記載事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業企画に至ったきっかけ ・事業企画の推進要因等 		<p>近年、生活習慣を起因とする疾病が社会的問題となり、生活習慣改善のための対策が求められている。</p> <p>また、健康に対する個人の努力に対し、保健行政の面から、予防的施策を推進することが重要であるため、生活習慣病の1要因である運動不足に焦点をあて、順天堂大学スポーツ健康科学部の協力により、運動教室を実施している。</p>
<p>予算化への過程において工夫したこと</p>		<p>「健康日本21」の地方計画である「〇〇町健康ビジョン」の具体的施策として位置づけることで、積極的に事業を展開している。</p>